担当された事件の概要等

1 裁判員（60代女性）

スーパーマーケットから弁当等を窃取して店外に出たところ、追跡してきた保安員に対し、その顔面を1回殴り、頭部を地面に数回打ち当てる等の暴行を加え、全治約1か月間の傷害を負わせた強盗致傷事件

主な争点：暴行態様、強盗致傷罪の「暴行」の程度

期 間：公判審理3日間、評議3日間（判決期日を含む。以下同じ。）

第1回公判は選任手続の17日後（中12日間は土日祝日）

判 決：懲役2年6月（執行猶予4年）（認定罪名：窃盗・傷害）

2 裁判員（50代男性）

夜間、路上において、被害者に対し、背後から抱き付きその両胸を着衣の上から両手で数回もみ、その際、その場にかがみ込んだ被害者に左膝を路上に打ち付けさせ、全治約2週間の傷害を負わせた強制わいせつ致傷事件

主な争点：量刑

期 間：公判審理2日間、評議2日間

第1回公判は選任手続の5日後（中2日間は土日）

判 決：懲役3年（執行猶予4年）

3 裁判員（40代女性）

氏名不詳者と共謀の上、営利の目的で、羽田空港内において、スーツケースに隠し入れた覚せい剤（約1984グラム）を輸入しようとしたが、税関職員に発見された覚せい剤取締法、関税法違反事件

主な争点：覚せい剤密輸の故意

期 間：公判審理3日間、評議3日間

第1回公判は選任手続の5日後（中2日間は土日）

判 決：懲役9年、罰金500万円、覚せい剤没収

4 補充裁判員（20代男性）

自宅において、殺意をもって、同居中の母親の頸部を包丁で突き刺すなどしたが、全治約1か月間の傷害を負わせるにとどまった殺人未遂事件

主な争点：殺意の有無、責任能力

期 間：公判審理4日間、評議4日間

第1回公判は選任手続の4日後（中2日間は土日）

判 決：懲役2年6月

※いずれも平成31年4月以降に行われた裁判